

地方公営企業法第 40 条の 2 第 1 項の規定に基づき、業務の状況について公表します。

令和 4 年 5 月

白河地方広域市町村圏整備組合  
管理者 鈴木 和 夫

## 白河地方広域市町村圏整備組合水道用水供給事業の 業務の状況について

### 1 令和 4 年度事業の概要

令和 4 年度水道用水供給事業会計予算が、去る 2 月 25 日開催の当組合議会 2 月定例会において可決されましたのでお知らせします。

#### (1) 総括事項

本年度の業務としましては、供給 6 市町村（白河市、矢吹町、西郷村、泉崎村、中島村及び棚倉町）を対象とし、年間総給水量 7,778,150 m<sup>3</sup>、一日最大給水量 21,310 m<sup>3</sup>を供給する予定です。前年度に引き続き、計画的な設備機器類の機能維持を図りながら、合理的な運転管理と健全な経営に努めるとともに、清浄でおいしい水の安定供給を図ってまいります。

本年度の予算につきましては、収益的収入は供給 6 市町村からの用水料金及び長期前受金戻入などを計上しています。収益的支出は当組合の芝原浄水場維持管理や保守点検、浄水に必要な動力費や薬品費、水質検査に要する経費、減価償却費、企業債利息、職員給与費などを計上しています。これら支出項目ごとに適正かつ効率的に執行することを踏まえ、収益的収入は 1,262,334 千円、収益的支出は 788,315 千円を計上しました。資本的収支につきましては、資本的収入 2,324,600 千円（企業債）、資本的支出 2,682,702 千円（建設改良費、企業債償還金）を計上しました。資本的収入額が支出額に対し不足する額 358,102 千円は、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金などで補てんします。

本年度の主な事業としましては、日常的な浄水場運転維持管理のほか、年次計画に基づいた施設の保守点検や修繕、そして原水や浄水の水質検査などを行います。修繕工事としては、脱水機設備修繕、薬品注入ポンプ修繕、流量計室水道メーター修繕、急速ろ過池洗浄設備修繕、薬品沈澱池排泥設備修繕、場外施設無停電電源装置修繕などを年次計画に基づき実施します。また、建設改良費としましては、芝原浄水場中央監視制御設備更新事業（2 か年計画 2 年目）と、芝原浄水場及び場外施設電気計装設備更新事業（2 か年計画 1 年目）を実施します。

## (2) 収支の状況

## イ 収益的収支

(単位：千円)

区 分		令和4年度 当初予算額	令和3年度 当初予算額	比 較 増(△) 減	備考
収益的 収支	収益	営業収益	726,054	726,054	0
		営業外収益	488,015	435,390	52,625
		特別利益	48,265	48,265	0
		計	1,262,334	1,209,709	52,625
	費用	営業費用	741,910	820,684	△ 78,774
営業外費用		41,404	50,924	△ 9,520	
特別損失		1	1	0	
予備費		5,000	5,000	0	
計		788,315	876,609	△ 88,294	

## ロ 資本的収支

(単位：千円)

区 分		令和4年度 当初予算額	令和3年度 当初予算額	比 較 増(△) 減	備考
資本的 収入	企業債	2,324,600	1,096,700	1,227,900	
	計	2,324,600	1,096,700	1,227,900	
資本的 支出	建設改良費	2,324,763	1,096,770	1,227,993	
	企業債償還金	357,939	366,741	△ 8,802	
	計	2,682,702	1,463,511	1,219,191	

※資本的収入額が支出額に対し不足する額358,102千円は、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金など358,102千円で補てんする。

## (3) 予定貸借対照表

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
1. 固定資産	14,452,930	3. 固定負債	3,708,948
(1) 有形固定資産	9,044,369	(1) 企業債	3,658,948
(2) 無形固定資産	5,408,561	(2) 引当金	50,000
2. 流動資産	810,318	4. 流動負債	347,235
(1) 現金預金	587,801	(1) 企業債	335,038
(2) 未収金	201,236	(2) 未払金	7,957
(3) 貯蔵品	21,281	(3) 引当金	4,240
		5. 繰延収益	8,760,954
		(1) 長期前受金	18,276,745
		(2) 収益化累計額	9,515,791
		6. 資本金	1,647,122
		7. 剰余金	798,989
		(1) 資本剰余金	55,653
		(2) 利益剰余金	743,336
資産合計	15,263,248	負債資本合計	15,263,248

## 2 令和3年度事業の状況（令和4年3月31日現在）

### (1) 事業の概要

令和4年3月31日現在の予算執行状況としましては、収益的収入の予算額1,158,177千円に対し、用水料金及び長期前受金戻入等による1,160,683千円の収入で執行率は100.22%となり、収益的支出の予算額924,366千円に対しては、経営に伴う施設維持管理費・減価償却費等による896,470千円の支出で執行率は96.98%となりました。また、資本的収支につきましては、資本的収入の予算額16,700千円に対し、企業債による16,700千円の収入で執行率は100.00%となり、資本的支出の予算額383,482千円に対しては、建設改良費及び企業債償還金による383,481千円の支出で執行率は100.00%となりました。

水道水の供給状況としましては、供給市町村への総送水量が7,460,636 m<sup>3</sup>となり、有収水量は7,395,325 m<sup>3</sup>、有収率は99.1%となりました。引き続き、安全な水の安定供給に努めてまいります。

令和3年度の主な事業としましては、水道用水供給のための日常的な運転・維持管理、原水や浄水の水質検査及び放射性物質モニタリング検査を実施したほか、当組合施設の修繕工事として、脱水機設備及び排水処理施設設備修繕、薬品注入ポンプ修繕、流量計室水道メーター修繕、急速ろ過池設備修繕などを年次計画に基づき実施しました。また、建設改良費としましては、浄水場中央監視制御設備更新事業（2か年計画1年目）の実施と、福島県管理の堀川ダムについて、県の長寿命化計画に基づく堰堤改良事業（6年目）実施に伴い、利水者側である当組合の負担割合29.6%分を負担しました。

当組合では、水道水の放射性物質モニタリング検査を週1回行っていますが、現在の状況は水道水中の放射性物質に係る管理目標値を下回っています。そのほか、原水（浄水場入口水）のモニタリング検査を週1回、堀川ダム流入水（堀川）のモニタリング検査を月1回の検査頻度で行っていますが、いずれも管理目標値を下回っています。

## (2) 経理の状況

## 令和3年度予算執行状況 (R4.3.31現在)

## イ 収益的収支

(単位：千円)

区 分		令和3年度 当初予算額	補正予算額	予備費支出額 流用増減額	現計予算額 (A)	上期執行済額	下期執行済額	執行累計額 (B)	予算残額 (A)-(B)	執行率(%) (B)/(A)	
収益的 収支	収益	営業収益	726,054	0	0	726,054	363,028	363,027	726,055	△ 1	100.00
		営業外収益	435,390	△ 51,532	0	383,858	11	384,077	384,088	△ 230	100.06
		特別利益	48,265	0	0	48,265	48,263	2,277	50,540	△ 2,275	104.71
		計	1,209,709	△ 51,532	0	1,158,177	411,302	749,381	1,160,683	△ 2,506	100.22
	費用	営業費用	820,684	0	0	820,684	84,697	713,830	798,527	22,157	97.30
		営業外費用	50,924	47,757	0	98,681	25,905	72,038	97,943	738	99.25
		特別損失	1	0	0	1	0	0	0	1	0.00
		予備費	5,000	0	0	5,000	0	0	0	5,000	0.00
		計	876,609	47,757	0	924,366	110,602	785,868	896,470	27,896	96.98

## ロ 資本的収支

(単位：千円)

区 分		令和3年度 当初予算額	補正予算額	現計予算額 (A)	上期執行済額	下期執行済額	執行累計額 (B)	予算残額 (A)-(B)	執行率(%) (B)/(A)	
資本的 収支	収入	企業債	1,096,700	△ 1,080,000	16,700	0	16,700	16,700	0	100.00
		計	1,096,700	△ 1,080,000	16,700	0	16,700	16,700	0	100.00
	支出	建設改良費	1,096,770	△ 1,080,029	16,741	0	16,741	16,741	0	100.00
		企業債償還金	366,741	0	366,741	182,256	184,484	366,740	1	100.00
		計	1,463,511	△ 1,080,029	383,482	182,256	201,225	383,481	1	100.00

※資本的収入額が支出額に対し不足する額366,781千円は、過年度分損益勘定留保資金134,545千円、減債積立金230,714千円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,522千円で補てんした。

## (3) 損益計算書

(単位：千円)

区 分	上期分	下期分	累計額
営業収益	330,025	330,025	660,050
営業費用	351,139	432,003	783,142
営業利益	△ 21,114	△ 101,978	△ 123,092
営業外収益	191,875	192,213	384,088
営業外費用	25,904	23,714	49,618
経常利益	144,857	66,521	211,378
特別利益	48,263	2,277	50,540
特別損失	0	0	0
当年度純利益	193,120	68,798	261,918
前年度繰越利益剰余金	0	0	0
その他未処分利益剰余金変動額	0	230,714	230,714
当年度未処分利益剰余金	193,120	299,512	492,632

※年度末において一括予算執行を行う長期前受金戻入及び減価償却費については、上期分・下期分としてそれぞれ推定される額を計上。

## (4) 貸借対照表

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
1. 固定資産	12,783,322	3. 固定負債	1,718,311
(1)有形固定資産	7,210,398	(1)企業債	1,668,311
(2)無形固定資産	5,572,924	(2)引当金	50,000
2. 流動資産	633,494	4. 流動負債	400,372
(1)現金預金	612,013	(1)企業債	359,015
(2)未収金	0	(2)未払金	36,711
(3)貯蔵品	21,481	(3)引当金	4,451
		(4)その他流動負債	195
		5. 繰延収益	9,083,461
		(1)長期前受金	18,276,745
		(2)収益化累計額	9,193,284
		6. 資本金	1,647,122
		7. 剰余金	567,550
		(1)資本剰余金	55,653
		(2)利益剰余金	511,897
資産合計	13,416,816	負債資本合計	13,416,816

## (5) 企業債の状況

(単位：千円)

区分	前年度末残高	令和3年度		3月末現在残高
		3月末現在借入高	3月末現在償還高	
企業債	2,377,366	16,700	366,740	2,027,326